

# 自治協ニュース

第2609号  
発行者  
八本松小学校区  
住民自治協議会  
H27. 1. 20

## 下組地区に最大規模の防災会誕生

### 1500世帯の安全確保 緊急時に機能する体制を重要視



避難所に指定されたシャープ第3工場前の新しい公園(かつえ坂第2公園)の交差点側に掲げられた「防災対策安全・安心」の横断幕

下組総合自治会は12月21日、下組総合自治会自主防災会結成大会を開催し、活発な議案審議のうえ「下組総合自治会自主防災会」の結成が決定された。

当自治会は八本松小学校区世帯の約3分の1を占める最大の自治会で、緊急時に確実に機能する体制が住民の安全確保に直結するものとし3段階への組織(役員・理事・推進員総数約130名)、双方向情報伝達網、必要な資機材等につ

て関係者と時間をかけ検討してきた。また、7月に実施したアンケート調査で住民の皆さんの80件余りに上る意見も体制作りに活かされ、全ての意見に対し回答を通じて回答する等住民の理解を得る方策がとられた。

山本防災会会長は、今後一時避難所(2ヶ所)への防災資機材・施設の設定、災害時要援護者への対応、防災マップや命の宝箱の配布等多くの計画があるが「住民の皆さんの安全・安心のため関係者の協力を得てこの地域のモデ



自主防災会結成大会での活発な審議(中央は山本防災会会長)

アンケート調査に見寄せられた主な意見

1	安全な避難場所について
2	確実な情報伝達について
3	ハザードマップについて
4	必要な資機材について
5	防災訓練について

ルとなる対応を図りたい」と語った。

八本松みなみ地区自主防災会(会長 横井國興氏)は12月28日から3日間、地域の皆さんの協力を得て「夜の巡回パトロール」を実施した。

これは、自主防災会の発足を機に住民の皆さんの安全安心の確保と防災・防犯意識の高揚のため、30年近く中断していた夜の見回り活動を復活させたもの。

参加した延べ32名の地域の協力者は担子木を鳴らし、「火の用心」と声を掛けながら八本

## 年末特別警戒活動「火の用心」



パトロール前の地域の協力者 八本松南集会所前 28日20時

松南一・二・三丁目の住宅地を巡回した。

またこの取り組みは、「自分の命は自分で守ろう皆の街は皆で守ろう」の自主防災スローガンの意識を深め地域の皆さんの結束を強めることもねらいとのこと。



# 2014年 主なニュース

## 平成26年を振り返って

平成26年度も既に3四半期が経過し、各活動とも素晴らしい成果をあげてきております。特に8月の広島土砂災害の被害を思うにつ

主防災組織が着々いいづれも素晴らしい成果で関係者の皆さんの御努力に対し厚く感謝の念を表します。

八本松小学校区住民自治協議会  
会長 中曾久勝

はじめ住民の皆さまの御協力に心からお礼申し上げます。また、他の活動につきましても他校区では見られない

## 自主防災会 組織化進む

12月 下組地区に最大規模の防災会

6月に住民自治協議会防災対策委員会が結成されて以来、各自治会で積極的な防災会の組織化が進められ、12月の下組地区の防災会結成で10箇所

の自主防災会が誕生し、感謝する。今後は防災マップの作成等 具体



中曾会長 清水川神社にて H27年正月

## 文化祭 住民参加型への第一歩

今年度から場所を小学校から地域センターに移行し、展示部門・展示部門とも発表枠を大幅に拡大した。幅広い年代層の参加が見られ、今後さらに住民のふれあいの場づくり



## 東広島市民スポーツ大会 連覇の偉業

平成25・26年連続の総合優勝

市制40周年を記念する本年度の大会で6月に陸上の優勝、8月には球技でも優秀な成績をおさめ見事昨年に続く総合優勝を手にした。大変厳しい中での成果だけに選手並びに関係者の皆さんの日頃の精進に敬意を表する。



陸上の部で優勝をした選手と関係者の皆さん

## 子供安全の日 木下あいちちゃん事件 風化させるな

11月「子供安全の日」のイベントを開催。これは防犯パトロール結成の主旨を思い起こし、子供たちを犯罪等から守る防犯活動の意識高揚を図るのが目的。その取り組みを10月の市内の防犯



登下校時の見守り活動 (交流会の発表から)

## 学校週五日制対応行事 毎回の盛況

子供たちにふるさとを伝える

青少年部会は12月20日に今年度8回目の週五日制対応行事を開催した。今回は大ブームの妖怪ウオッチの絵柄で石鹸をデコパージュするとあって80名を超す大人気。独創的な子供たちの作品に講師の上西先生もびっくり。



見事な出来栄えに大満足